

第 5 分 科 会

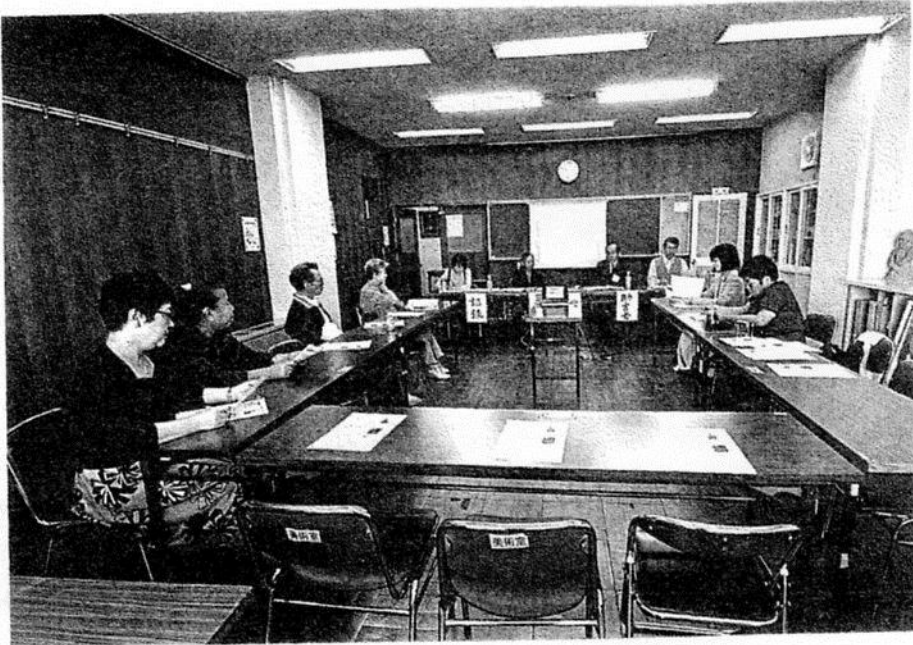
平和とくらしのシンポジウム

助言者 立石 昌義（県農民運動連合会会長）

市瀬 陽三（市原水協会会長）

司会 箕輪 愛子

記録 安藤 芳美



助言者の自己紹介

- ・ 原水協の県代表をしている。大和田通信基地や朝霞駐屯地などあり、30年近く核廃絶の運動をしている。意見交換をしたい。
- ・ 杉並生まれ。子どもの頃、清瀬に大むらさきなど採りに来た。昔は杉並も農村だったが、高級住宅が建ち土が見えなくなった。スライドを使用して話したい。

参加者の自己紹介

- ・ 自然とくらしを守る市民の会 妙音沢の貴重な植物を守ることをシンボルにしてきた。自然を守るということは、本当はくらしを守るということだと思う。
- ・ 新座に住んで23年になる。ふるさとの感じがつかめない。どういふふうにしたら愛着が持てるかなと思い、そんなことを聞きたい。
- ・ 新座母親大会に1回目から参加してきた。仕事が忙しくて、ちょっと途切れたが、生協に就職して、またかかわるようになった。若い人たちのこれからの食の安全を考える。戦争体験者です。
- ・ 平和とくらしといっても、日常生活ではあまり考えていないが、少し勉強しようと思い参加した。
- ・ 市議、9月議会の真っ最中です。市は観光都市をめざしているが、不況で、赤字企業や生活保護家庭など増えている。住んでいる人が、住んでよかったといえる市になってほしい。いろいろな相談が多い。生の声を聞きたい。
- ・ 42年間働いて、辞めて5年目。新座に住んで36年、保育や学童施設の値上げのこととか、市民運動にかかわってきた。仕事を辞めて地域に戻り、何をしたらいいか、考えている。

助言者(立石)からスライド

- 1 世界の飢餓 9.3 億、途上国に飢餓人口の 98%が集中している。今日明日をどう生きながらえるか、6 秒に 1 人の子どもが飢えで亡くなっている。
- 2 世界食糧危機と日本
日本は 4 割の「田んぼ」を休耕し、外米(MA 米)を毎年 77 トン輸入している。米が過剰なのに輸入を促進し、1 俵(60K) 1 万円以下に、40 年前の米価に暴落。
- 3 米を食べ続けるためには、生産費を大幅に下回る米価では、米作り農家が激減する。備蓄米 40 万トンの買い入れを政府に要求、予算節約の上からも急務。
- 4 「食糧主権」は、すべての国の民衆が自分たち自身の食糧・農業政策を決定する権利。米を守り、日本の穀物自給率 (27%) を上げるためには、戦後一貫して続けられてきた。アメリカの食糧戦略と手を切ること。10 月にグリーンウェーブという集会がある。日本が平和であるよう、国産のものを食べていけるよう協力してほしい。

助言者(市瀬)

戦後・被爆 65 年の 8 月、「戦争のない平和な世界をつくろう 核廃絶は市民の願い：新座市」の垂れ幕が掲げられた。須田市長が「核兵器のない世界のために：国際署名」に初めて署名し、併せて平和市長会議に加盟したことを評価、市民にこの事実を広く周知するよう求めたのに応じたもの。

新座市原水協などはこれまで何度も歴代の市長に対し、「アピール署名」をはじめとした核廃絶署名を求めてきたが、「朝霞四市の特別な事情」を口実に、一切署名をしなかった。今回、市長の背中を押したのは、昨年オバマ大統領の「核平気のない世界を追求する」という演説に象徴される国際世論にあつたからではないか。同時にこれまでの市原水協をはじめとした地道な運動が背景にあつたことは間違いない。

出席者の意見

- ・ 相続税などで農家を続けたいが田畑を手離さなくてはならない。
- ・ 東野小の雑木林は半分が教育林として生かされている。
- ・ 墓地が開発されている。
- ・ 地産地消をすすめている。学校給食も各校に栄養士がいて、調理は民間にお願いしている。センター方式にならず、誇れるのは学校給食だけ。
- ・ 家の宅地に小屋や保管庫を作っているのは、農地並みの税金になればと思う。
- ・ 生協は地元の野菜売り場を設けている。地元の野菜のほうが早く売れる。

助言者

農地を宅地にしてはならない。コンクリートになったら、雨水を処理できなくなる。田畑をなくすと大変なことになる。福岡でどんぐりなど植えて雑木林が復活している。埼玉でも雑木林を作ろうかという話も出ている

農地の税金の問題は自治体でやれる。市長にその気があれば可能性はある。北本に学校給食の歴史館があり、いつでも案内してくれるので見てほしい。子どもたちには地産地消でおいしいものを食べさせたい。新婦人も農家を守るために産地ボックスを取り扱っている。

その他にも

- ・ 新座は野火止用水だけでなく、雑木林も残せたらと思う。今年のように暑ければ木の下も涼しいが、ただ残せだけでは心は伝わらない。
- ・ 犯罪防止のために木を切るところもある。
- ・ 切った木はチップにして畑や庭にまくと雑草が生えない。鶏のふんと

一緒に飼料にするところもある。

申し合わせ事項

- 1 穀物自給率 27%という食糧危機の中で、私たちは食糧主権の確立のため、継続して勉強していきましょう。
- 2 都市近郊の農業を守る自然や雑木林を残す運動をすすめましょう。
- 3 平和や核廃絶について学習し、粘り強く市民に知らせていきましょう。
- 4 大和田通信基地の危険性を市民に知らせて、なくしていく方向で運動をすすめましょう。

市への要望事項

- 1 平和授業を一層強め継続してください。
- 2 高すぎる相続税の軽減をはかり、農業施設については宅地なみ課税ではなく、農地なみにしてください。